

《10面からつづく》



「一体改悪」の撤回を求めてデモ行進する協会役員ら
＝2012年3月3日、大阪市中央区・御堂筋

歯科機器・材料の特売コーナーや地方特産品の販売、音楽演奏、新規開業セミナーなどの企画で賑わいを見せた。2012年12月には、救急薬品セットの購入者を対象の講習会「不測の事態と薬品の使い方について」を開催し、医科協会・中野明弘副理事長が講師を務めた。

4、マスコミへの働きかけ

協会が患者・府民向けの広報媒体として始めた「寺谷一紀の『医療どお〜ナル』」は全27回シリーズでテレビ放送され、最高時には一カ月間に約20万世帯から視聴された。2012年6月放送分からはテレビ局側の事前チェックにより無断で編集カットされる事態が起きた。このままでは協会の主義・主張が束縛される内容になるため、放送を中止するに至った。今後はいかなる圧力にも負けない独自の番組づくりを検討していきたい。

5、役立つ協会をつくる活動

2年に1回、日常診療経験交流会を開催してきた。2011年に開催した第5回日常診療経験交流会は「防げる、治せる、認知症」

(1) 専門家を交えた相談活動

日常的な雇用管理相談、税務調査の立会い、毎日のレポート請求・カルテ記載アドバイス、毎月の個別指導相談など、会員から寄せられた相談に対し、協会役員・事務局と税理士や社労士、弁護士が力を合わせて的確に答えてきた。

(2) 日常臨床から雇用管理まで、明日から役立つ講習会の開催

歯科医療を取り巻く情勢から最新の治療などの日常診療に役立つ講習会をはじめ、自主記帳や雇用対策講習会、医院経営に役立つ講習会など、多彩な講習会の開催に努めてきた。開催数は100回を超え、のべ1万人以上の会員・スタッフが参加する盛況ぶりとなった。なかでも「外来環」と「支援診」の施設基準に係る研修会は、協会以外ではほとんど開催されていないため、会員が直接メリットを享受できる有益な取り組みとなった。

(3) 医科歯科連携の取り組み

2年に1回、日常診療経験交流会を開催してきた。2011年に開催した第5回日常診療経験交流会は「防げる、治せる、認知症」



からだの健康には、歯の健康がかかっている場合があります
歯周病についての質問がありましたら、大阪府歯科保険医協会へお気軽にご相談ください

をテーマに293人の参加者で成功した。医科歯科連携の新しい取り組みとして、高柴正悟教授の協力を得て岡山大学との共同で、歯周病治療による糖尿病指標の変化を調査する研究を始めた。これは、対象患者への歯周病治療によって、糖尿病指標の改善に与える影響の有無について追跡調査することを目的としている。登録会員を対象に説明会を開催し、疑問に思えたほか、地元で連携を進める趣旨から医科協会会員向けのポスターを作成し、活用を呼びかけた。

(4) サマーセミナー・会員学習会

協会は、時局問題のうち特に社会保障・医療に関連するテーマで各種学習会を開催している。サマーセミナーでは2011年に社会保障・税一体改革と社会保障財源問題(講師・二宮厚美神戸大学教授)を、2012年は原発事故による内部被ばく(講師・矢ヶ崎克馬琉球大学名誉教授)と維新の会が狙う都構想と道州制(森裕之・立命館大学教授)をそれぞれ取り上げ、問題の本質・実態を学んだ。会員学習会でも、喫緊の問題である日本のTPP交渉参加と社会保障制度改革推進法をテーマにし社会保障、医療・歯科医療への影響を探った。

(5) 役に立つ情報を早く正確に届ける活動

機関紙「大阪歯科保険医新聞」は2013年3月25日付で通巻1134号を数えた。歯科医療情勢をはじめ国政や府政の現状をはじめ、個別指導や疑義解釈、日常臨床、経営・税務などの多彩な企画のほか、会員の紙上交流の場として大切な役割を担っている。PR号は大阪府下の協会未入会者にも送付し、保

険医協会の魅力をアピールした。協会ホームページの「会員ページ」でも迅速な情報提供に努めたほか、生涯研修講座の冒頭では毎回情勢報告を続けてきた。

(6) 会員の身近で役立つ事務局活動・会員訪問

全国的に歯科会員の入会者数が伸び悩んでいるなか、協会は組織的前進を築いてきた。役員と事務局が会員訪問に取り組み、会員が抱える日常的な悩みや相談活動に取り組んできた結果、退会者を減らす取り組みにつながったものと考えられる。この取り組みは、協会40年の歴史の上に刻み込まれた組織の拡大と運動を、役員と事務局が自らのものにする契機となった。

6、会員に身近で役立つ地区活動

(1) 会員、住民に近い地区活動

地区組織の活動は、会員の身近な存在として意見をくみ上げ、活動に反映するための窓口や、無料歯科健診や歯科健康教室などの取

「医療どお〜ナル」シリーズのテーマ

年	月	担当協会	テーマ
第1期	2008年	9月 医科	「大阪府保険医協会の活動」
		10月 医科	「日本の医師不足」
		11月 医科	「崩れゆく健康保険制度」
		12月 歯科	「保険で良い歯科医療の実現」
	2009年	1月 医科	「子どもの無保険」
		2月 医科	「混合診療を知る」
		3月 歯科	「見直した！歯の大切さ」
		4月 医科	「減らされる療養病床（長期入院のベッド）」
第2期	2010年	5月 医科	「くらし・医療の不安と制度の利用」
		6月 医科	「もうひとりで悩まない～保険医協会に相談を」
		7月 歯科	「個人情報に危ない！～医療から漏れるあなたのすべて～」
		8月 歯科	「どお〜ナル！日本の歯科医療」
	2011年	4月 医科	「どお〜ナル！後期高齢者医療制度」
		5月 歯科	「受診格差－痛くて歯医者に行けない」
		6月 医科	「もうひとりで悩まない～保険医協会に相談を～」
		7月 歯科	「個人情報に危ない！医療から漏れるあなたのすべて」
	2012年	8月 医科	「ワクチンで命を守る！～誰もが安心して予防接種を」
		9月 歯科	「自宅で受ける歯科診療～歯科訪問診療を知る」
		10月 医科	「平和を求め活動～イラクの子どもたち～」
		11月 歯科	「歯の健康を守りたい！～保険で良い歯科医療の実現」
第3期	2011年	12月 医科	「シリーズ医療現場から見える貧困①～安心の医療を目指して」
		1月 歯科	「シリーズ医療現場から見える貧困②～医療から遠ざける国保広域化」
		2月 医科	「シリーズ医療現場から見える貧困③～安心の医療をつくる」
	2012年	3月 医科歯科	「シリーズ医療現場から見える貧困④～マ・マ…ど・こ・に・い・る・の～児童虐待」
		4月 医科	「社会保障と税の一体改革」①
		5月 歯科	「税と社会保障の一体改革－消費税UPで社会保障はどうなる？－」②
6月 歯科	「歯科医療の疑問・質問に答えます－なぜ医科では保険が利くのに歯科では利かない治療があるの？－」		

《12面からつづく》

実施日	検診・健康教室名	人数
4月18日	三島地区健康教室・歯科健診	41
5月16日	三島地区健康教室・歯科健診	11
9月16日	吹田・よっといで祭り歯科健診	671
10月21日	東大阪市民まつり歯科健診	86
10月28日	枚方子どもまつり歯科健診	180
10月28日	北摂医療生協健康まつり	67
11月3日	八尾市民まつり歯科健診	68
11月11日	茨木社保協主催フリーマーケット会場歯科健診	42
11月11日	医療生協かわち野八尾健康まつり	17
11月18日	とよなか社保協フェスタ	50
計		10回 1,131

実施日	検診・健康教室名	人数
9月18日	吹田・よっといで祭り歯科健診	730
10月16日	淀川健康友の会健康まつり	115
10月23日	いけいん医療生協健康まつり	53
10月23日	枚方子どもまつり歯科健診	200
10月30日	ほくせつ医療生協健康まつり	102
11月3日	八尾市民まつり歯科健診	83
11月13日	茨木社保協主催フリーマーケット会場歯科健診	89
2月22-23日	三島地区健康教室	41
計		8回 1,413